

平成21年10月28日

各位

上場会社名 株式会社 アマダ
 代表者 代表取締役社長兼執行役員最高経営責任者 (CEO) 岡本満夫
 (コード番号 6113)
 問合せ先責任者 取締役兼常務執行役員財務部門長 山下賀弘
 (TEL 0463-96-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	69,000	△2,700	△900	△600	△1.57
今回発表予想(B)	59,000	△6,300	△3,700	△3,200	△8.38
増減額(B-A)	△10,000	△3,600	△2,800	△2,600	
増減率(%)	△14.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	127,100	14,741	16,394	9,524	24.70

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	150,000	△1,400	1,700	1,000	2.62
今回発表予想(B)	130,000	△10,000	△5,500	△4,500	△11.78
増減額(B-A)	△20,000	△8,600	△7,200	△5,500	
増減率(%)	△13.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	225,789	18,701	17,559	8,488	22.12

修正の理由

当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な景気後退や設備投資抑制の影響を受け、当初の予想よりも厳しい状況で推移しております。

第2四半期連結累計期間の売上高は、中国や新興国市場では持ち直しの動きが見られますものの、主要市場である日本や欧米での不振が響き、当初の予想を下回る見込みとなりました。

損益面におきましても、当社グループでは徹底的なコスト削減を推進しておりますが、売上高減少による影響をカバーすることは出来ず、当初の想定よりも損失が拡大する見通しであります。

また、通期におきましても、景気の早期回復は見込めず、厳しい事業環境が続くことが予想されますので、当初の業績予想を下方修正しております。

(注)上記の予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以上